



SAKURA ネット

令和2年(2020年)12月22日

学びに向かう力の育成 学力・学習状況調査の結果から

本年度の全国学力・学習状況調査は、新型コロナウイルス感染症の学校への影響が考慮され、実施されませんでした。真庭市の各学校では配付された調査用紙を活用して3年生を対象に調査を行いました。岡山県学力・学習状況調査についても、7月に時期を変更して実施され、1・2年生が調査を行いました。先日、岡山県調査(1・2年生)の結果が返却されたことを受け、3年生の結果と併せて本校の学力調査、学習状況調査の結果をお知らせします。

《全国学力・学習状況調査用紙を活用した調査について：3年生》

(県や市の結果が公表されていないため、本校の状況についてのみお伝えします。)

国語	数学
<p>◎正答率が高いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「漢字」や「歴史的仮名遣い」の知識・技能 ・「効果的な話し方」について理解すること ・「短答式」の問題形式 <p>△正答率が低いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「文章の展開」に即して内容を捉えること ・自分の考えが効果的に伝わるよう、説明や具体例を加えて書くこと <p>◇課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字や歴史的仮名遣いなどの基本的な力は身に付いているが、言葉の活用にはやや課題がある。 ・説明や具体例を加えて効果的に伝えるような記述式の問題を苦手としている。 <p>○対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙力、文章力を高めるための手立てをする。 ①単元ごとに、テーマに即した課題作文を条件に合わせて書く活動を行う。 ②1時間ごとの授業の振り返りに、自分の考えを書く活動を継続して行う。 	<p>◎正答率が高いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「数と式」の基本的な理解 ・事象における数量の関係を見いだすこと ・「選択式」の問題形式 <p>△正答率が低いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学的に解釈すること ・データの特徴を的確に捉え、判断の理由を数学的に説明すること <p>◇課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な計算技能が十分身に付いていない。 ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することを多くの生徒が苦手としており、無回答率も高い。 <p>○対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習したことと関連させながら、既習事項の復習をし、基礎力をつける。 ・話し合いを通して自分の考えを深めたり、新しい考え方を得たりしながら、問題解決に取り組む。

《岡山県学力・学習状況調査について：2年生》

国語：昨年度より県平均に近付いた	数学：昨年度より県平均に近付いた
<p>◎相対的に正答率が高いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「漢字の読み書き」や「文法・語句」に関する知識 ・「話し合いの内容」の聞き取り ・「文学作品」の読み取り <p>△相対的に正答率が低いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「説明文」の内容や要旨をとらえること ・自分の考えをまとめること ・指定された条件で文章を書くこと <p>◇課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出題を的確に理解して、条件にあった作文をする力が弱い。 ・問題を解くにあたって、出題の意図を正しく理解することができていない。 <p>○対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件作文課題で、生徒の相互添削に取り組み、出題の意図に合わせた柔軟な発想があることに気付かせ、考えを広げられるようにする。 ・問題演習をするときに、発問の読み取り方にポイントをおいた読み取り方を指導する。 	<p>◎相対的に正答率が高いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「正の数・負の数」の計算 ・「文字式」や「一次方程式」の計算 ・「関数」や「図形」の基本的理解 <p>△相対的に正答率が低いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象の数量関係を式に表すこと ・資料を読み取り活用すること ・読み取った内容を根拠をもって説明すること <p>◇課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的事象を数学として考える力が弱い。 ・自分の言葉で根拠を示して説明することを苦手とし、そのような場面を避けようとする傾向がある。 <p>○対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に、自分で予習した内容を説明する機会を設けている。 ・定期テストにおいて、根拠を示して説明したり、理由を説明する問題を出題したりする。
<p>英語：県平均より高い</p>	
<p>◎相対的に正答率が高いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「リスニング」の領域 ・単語の並べかえによる英作文 ・場面や条件に応じて書く英作文 <p>△相対的に正答率が低いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語形や語法の知識及び理解 ・長文の読み取りや内容把握 <p>◇課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書以外の英文に触れる機会が少ないため、長文の全体把握をすることを苦手としている。 ・頻出語句は覚えているが、それ以外の語句が十分身に付いていないなど、語彙力に課題があるため英文の意味を読み取ることができていない生徒が多い。 <p>○対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やや平易と思われる語句を用いた長文を読むことに継続的に取り組む。 ・既出の語句を復習する時間を確保する。 ・リスニング力アップには音読を、英作文力アップにはなるべく長い文章を書く活動を、引き続き行う。 	

《岡山県学力・学習状況調査について：1年生》

国語：県平均より低い	数学：県平均より低い
<p>◎相対的に正答率が高いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話し方の工夫」を聞き取ること ・「敬語」についての理解 <p>△相対的に正答率が低いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「漢字」を書くこと ・「文法や語句」に関する知識 ・「説明文」や「文学作品」を読み取ること ・条件に合わせて自分の考えを書くこと <p>◇課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きの力が弱い。 ・条件に合わせて、自分の考えをまとめたり、主張したりする力が弱い。 <p>○対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週の宿題である漢字練習と、漢字テストを継続して行う。 ・問題練習をするときに、例文の中での熟語の使用例を知ることにより、語彙を増やすことにつなげる。 ・作文に対する抵抗感を減らし、慣れるために条件作文課題に取り組む活動を行う。 	<p>◎相対的に正答率が高いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「少数・分数」の基本的な計算 ・「合同な三角形」や「折れ線グラフ」の理解 <p>△相対的に正答率が低いもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「百分率」や「比例・反比例」の理解 ・「文章題」を解くための式をつくること ・「グラフ」を読み取り活用すること ・読み取った内容を具体的に説明すること <p>◇課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフや図形から読み取った内容を整理し、目的に応じて処理する力が弱い。 ・説明のための根拠を示すことが苦手である。 <p>○対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業において、間違っている理由や、答えを求めるための方法及びその根拠を説明する場面をつくり、全体で確認していく。 ・定期テスト等において、途中の解法を答える問題を出題する。 ・課題に即した求め方、式づくりを意識するよう指導する。



《学習状況調査について：全学年》

- ・全学年に共通している質問項目を中心に抜粋しています。
- ・3年生は本校の結果のみを示しています。
(数字は、肯定的な回答の割合:単位は%)
- ・2年生・1年生は、本校の結果と併せて県平均との比較を◎、○、△で示しています。
(◎:県より高いもの ○:県と同程度のもの(±3.0) △:県より低いもの)

質問事項	3年生	2年生	1年生
将来の夢や希望を持っている	72.5	77.9◎	88.3◎
自分の将来のために勉強することは大切だと思う	—	98.2◎	98.5◎
自分にはよいところがあると思う	81.7	70.4△	72.0△
先生は、あなたのよいところを認めてくれている	87.8	83.3△	86.8○
朝食を毎日食べている	93.9	92.6◎	95.6◎
毎日同じくらいの時刻に寝ている	88.0	85.2◎	83.8◎
テレビやゲーム時間のルールを家の人と決めている	46.1	62.9◎	54.4△
自分で計画を立てて勉強している	57.0	55.6△	67.7○
学校の授業以外に1時間以上勉強している(平日)	65.8	64.9△	82.4○
学校の授業以外に1時間以上勉強している(休日)	77.7	74.1◎	76.4◎
学校の授業は、私語が少なく落ち着いた雰囲気である	—	62.9△	52.9△
国語の授業の内容はよくわかる	76.6	76.5△	80.9△
数学の授業の内容はよくわかる	69.7	79.6○	85.3○
英語の授業の内容はよくわかる	—	74.1○	—

◇本校の状況と課題

「朝食」や「就寝時刻」の項目の結果から、本校の生徒の多くは生活リズムが比較的安定していること、「夢や希望」「勉強の大切さ」の項目の結果から、将来に向けて努力することの大切さを理解して、学習に取り組もうとしている様子がうかがえます。一方、「自分にはよいところがあると思う」の項目は7割程度とやや低いのが気になるところです。

テレビやゲームのルールを決めたり、自分で計画を立てて勉強している生徒は県平均よりも低い傾向にありますが、家庭学習を1時間以上している生徒の割合は、平日・休日ともに6割から8割となっており、家庭での学習習慣の状況は、昨年度と比較して改善傾向にあります。

「授業が落ち着いた雰囲気である」と回答した生徒(2年生、1年生)の割合が5割から6割となっていることは、学校として重要な課題であると受け止めています。対策の一つとして、今学期は落ち着いた雰囲気での授業に臨むことができるよう、授業終始のあいさつを丁寧に行う取組を全校で進めてきました。学級委員の継続的な取組が功を奏し、授業の始まりの礼を整然と行うことで、集中して学習に向かう様子が見られるようになっていきます。



授業については「内容がよくわかる」と回答した生徒が7割から8割程度にとどまっていることも踏まえ、一人ひとりのよい点や可能性を積極的に評価しながら、生徒が主体的に学びに向かう力を身に付けることができるよう、今後も継続して教育活動の充実に努めます。